

# 株式についてのご案内

## ○ 上場株式等の配当等に係る10%軽減税率(所得税7%、住民税3%)の廃止について

2014年1月1日から上場株式等の配当等に係る10%軽減税率(所得税7%、住民税3%)は廃止され、**本来の税率である20%(所得税15%、住民税5%)となりました。**

また、2013年1月1日から2037年12月31日までの間(25年間)は、「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が施行されており、**その所得税額に対して2.1%が「復興特別所得税」として課税されています。**

そのため、株式等の配当等もその源泉所得税を徴収する際に「復興特別所得税」が併せて徴収されています。

### 〈上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について〉

配当等の支払開始日	2014年1月1日～2037年12月31日	2038年1月1日～
上場株式等の配当等の税率	<b>20.315%</b> [内訳] 所得税(15%) + ※復興特別所得税(0.315%) 住民税(5%)	<b>20%</b> [内訳] 所得税(15%) 住民税(5%)

※15% × 復興特別所得税率 2.1% = 0.315%

ご案内の内容が該当しない場合もございます。詳細につきましては、所轄の税務署等へご確認ください。

(2014年1月時点の情報をもとに作成しています)

## ○ 株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 基準日 定時株主総会：3月31日  
期末配当：3月31日  
中間配当：9月30日(行う場合)
- 公告方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 電子公告掲載ホームページアドレス <http://www.keihan.co.jp/koukoku/>
- 株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

 **0120-782-031**

(銀行営業日の9:00～17:00)

取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

### ■ 各種手続きのお申し出先

未払配当金の支払い請求	▶ 三井住友信託銀行(株主名簿管理人)
住所変更、相続、単元未満株式の買取請求・買増請求、配当金受取方法の指定等	証券会社の口座で管理されている株主様 ▶ お取引証券会社 特別口座が開設された株主様※ ▶ 三井住友信託銀行(特別口座管理機関)

※証券会社の口座で管理されていない株式は、当社が三井住友信託銀行に開設した「特別口座」にて管理されております。特別口座では、株式の売買等はできません。売買等を行うには、証券会社に口座を開設したうえで、株式の振替手続きをしていただく必要があります。

## 京阪電気鉄道株式会社

〒540-6591

大阪市中央区大手前1丁目7番31号

株式担当 TEL(06)6944-2521 広報担当 TEL(06)6945-4585

ホームページアドレス：<http://www.keihan.co.jp/>



第92期

株主通信

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

こころまちつくろう  
**KEIHAN**

# ごあいさつ

第92期株主通信をお届けするにあたり、株主のみなさまの  
平素からのご厚情に、心から御礼申し上げます。

## 平成25年度の業績について

当期の京阪グループは、各事業にわたり積極的な営業活動をおこない、業績の向上に努めました結果、連結当期純利益は144億2千万円、当社単体の当期純利益は90億8千2百万円となり、2年連続で過去最高益となりました。こうした状況に鑑み、当期の期末配当は1株につき1円増配の3.5円(中間配当を含めた年間配当は6円)といたしました。今後は、経営環境が激しく変化する中におきましても、沿線価値の向上を図ることで公共性の高い鉄軌道事業の安定した基盤を確保するとともに、当社グループが成長するための積極的な投資および財務体質の強化に努め、かつ成果に応じた株主還元を持続的に実施するため、自己資本の水準および業績を勘案しつつ、継続して安定的な利益配当を実施することを配当の基本方針とし、引き続き経営努力を重ねてまいります。

## 次の成長ステージに向けて

「次の100年のために『強靱な京阪』の礎を築く」を基本方針に取り組みを進めております「京阪グループ中期経営計画(2012~2014年度)」は2年目を終えました。当計画で「沿線再耕」の目玉として取り組んでおりました「KUZUHA MALL」第2期リニューアルが3月12日に完了し、大阪府下最大級の

代表取締役社長  
CEO兼COO  
執行役員社長

加藤 好文



ショッピングセンターに進化しグランドオープンするなど、拠点開発を推進し収益力の強化を図りました。

平成26年度は当計画の最終年度です。業績は順調に推移しておりますが、掲げた目標を着実に達成してまいります。樟葉に続く「沿線再耕」に向けた取り組みを推進するとともに、京都をはじめとする沿線観光地の魅力を引き出す「観光創造」にも取り組んでまいります。また、新たな成長ステージに進んでいくため、次期中期経営計画の策定も推進してまいります。

今後も鉄道事業者として「安全・安心」を提供していくとともに、コンプライアンスの遵守、環境保全、地域との共生といった社会的責任を果たし、企業価値とブランドを向上させ、株主価値の最大化を実現し、株主のみなさまに満足していただけるよう努めてまいります。

株主のみなさまには、今後も一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

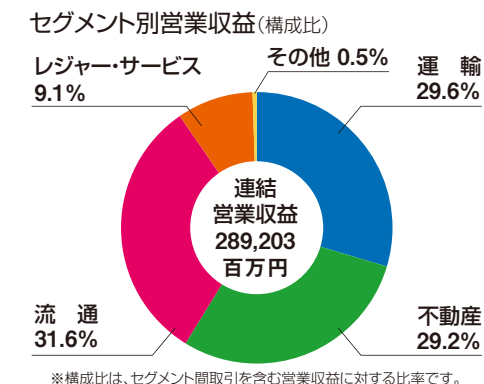
平成26年6月

# 連結決算の概況

## 平成25年度の連結業績について

当期のわが国経済は、日本銀行の金融緩和や政府の経済対策などを背景に、円安の進行や株価の上昇もあって企業収益や個人消費が底堅く推移するなど、緩やかながらも着実に回復を続けました。

このような経済情勢のもとにおきまして、当社グループでは、各事業にわたり積極的な営業活動をおこなって、業績の向上に努めました結果、当期の営業収益は2,892億3百万円(前期比:3.6%増)、営業利益は250億8千5百万円(前期比:7.7%増)、経常利益は214億5千7百万円(前期比:13.3%増)、当期純利益は144億2千万円(前期比:30.2%増)となりました。



鉄道事業におきましては、「きかんしゃトーマス号2013」や正月ダイヤ期間中にノンストップ京阪特急「洛楽初詣」を運行するなど、旅客誘致に努めましたほか、平成25年6月より当社宇治線でワンマン運転を開始いたしました。バス事業におきましては、「ダイレクト エクスプレス 直Q 京都」号が好調に推移いたしましたほか、バスの運行状況を把握できる「バスロケーションシステム」の運用エリアを拡大するなど、利便性の向上を図りました。



ショッピングモールの経営におきましては、平成26年3月に「KUZUHA MALL」が増床・リニューアルオープンし、大阪府下最大級のショッピングセンターとしてさらなる進化を図りました。ストア業におきましては、「SWEETS BOX 西武新宿ペペ店」「ユニクロ近鉄上本町駅店」などのほか、ミニスーパーマーケット「フレストップちくすは店」を「京阪くすは駅ビル」に出店するなど、積極的な店舗展開に努めました。



不動産販売業におきましては、「京阪東ローズタウン」「けいはんな公園都市」などの土地建物や「ファインクォーターシティ」などのマンションを販売いたしましたほか、首都圏におきましても積極的な事業展開に努めました。不動産賃貸業におきましては、既存ビルの稼働率向上に努めましたほか、アセット・ポートフォリオの最適化の取り組みの一環として、平成26年3月に「みかみビル」を売却いたしました。



ホテル事業におきましては、観光需要の取り込みを図るべく、平成25年4月に京都タワーの展望用エレベーターと展望室のリニューアルを実施いたしました。また、「ホテル京阪ユニバーサルシティ」「ホテル京阪京橋」「京都タワーホテル」および「京都センチュリーホテル」におきまして客室のリニューアルを実施するなど、競争力の強化を図りました。

# 財務諸表(要旨)

## 連結貸借対照表

(平成26年3月31日現在)

科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
流動資産	147,216	流動負債	179,858
現金及び預金	25,880	支払手形及び買掛金	11,258
受取手形及び売掛金	24,603	短期借入金	78,823
販売土地及び建物	83,075	前受金	25,031
繰延税金資産	2,855	その他	64,744
その他	10,801	固定負債	321,459
		社債	70,655
固定資産	523,965	長期借入金	159,857
有形固定資産	457,887	退職給付に係る負債	19,121
建物及び構築物	190,767	その他	71,825
機械装置及び運搬具	11,604	負債合計	501,318
土地	219,359		
建設仮勘定	26,917	<b>(純資産の部)</b>	
その他	9,238	株主資本	126,535
無形固定資産	8,043	資本金	51,466
投資その他の資産	58,034	資本剰余金	28,819
投資有価証券	38,569	利益剰余金	47,700
繰延税金資産	2,483	自己株式	△ 1,451
その他	16,982	その他の包括利益累計額	40,473
		その他有価証券評価差額金	10,966
		土地再評価差額金	32,008
		退職給付に係る調整累計額	△ 2,501
		少数株主持分	2,855
		純資産合計	169,864
<b>資産合計</b>	<b>671,182</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>671,182</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結株主資本等変動計算書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

	株主資本					その他の包括利益累計額				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額		
当期首残高	51,466	28,818	37,258	△ 1,373	116,170	8,423	30,842	-	39,266	2,685	158,121
当期変動額											
剰余金の配当			△ 2,811		△ 2,811						△ 2,811
当期純利益			14,420		14,420						14,420
土地再評価差額金取崩額			△ 1,166		△ 1,166						△ 1,166
自己株式の取得				△ 93	△ 93						△ 93
自己株式の処分					15						16
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		0				2,542	1,166	△ 2,501	1,207	170	1,377
当期変動額合計	-	0	10,442	△ 77	10,364	2,542	1,166	△ 2,501	1,207	170	11,742
<b>当期末残高</b>	<b>51,466</b>	<b>28,819</b>	<b>47,700</b>	<b>△ 1,451</b>	<b>126,535</b>	<b>10,966</b>	<b>32,008</b>	<b>△ 2,501</b>	<b>40,473</b>	<b>2,855</b>	<b>169,864</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで) (単位:百万円)

科目	金額
営業収益	289,203
営業費用	264,118
営業利益	25,085
営業外収益	1,578
営業外費用	5,206
経常利益	21,457
特別利益	2,805
特別損失	1,498
税金等調整前当期純利益	22,765
法人税、住民税及び事業税	8,295
法人税等調整額	△ 173
少数株主損益調整前当期純利益	14,643
少数株主利益	223
<b>当期純利益</b>	<b>14,420</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

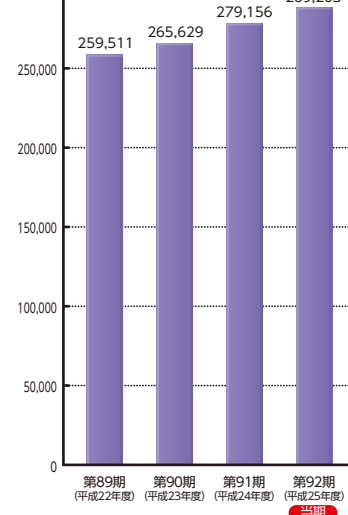
(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで) (単位:百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,573
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 15,132
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,412
現金及び現金同等物の増減額	3,028
現金及び現金同等物の期首残高	22,802
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>25,831</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

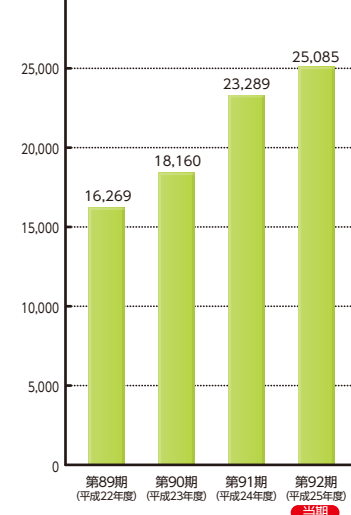
## 連結営業収益

(単位:百万円)



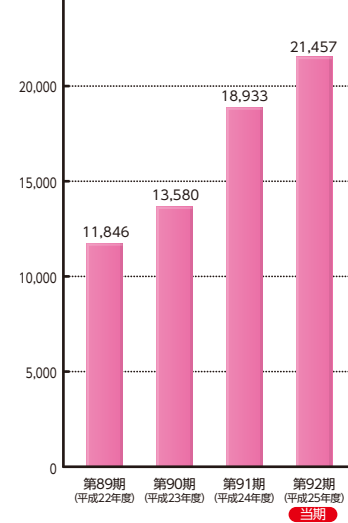
## 連結営業利益

(単位:百万円)



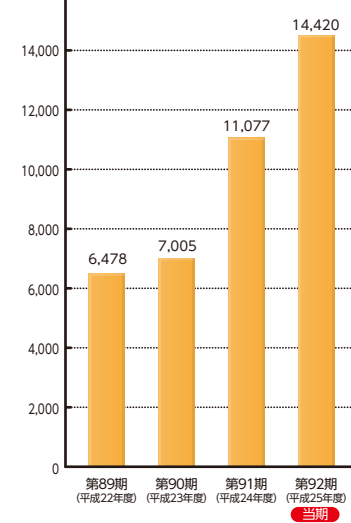
## 連結経常利益

(単位:百万円)



## 連結当期純利益

(単位:百万円)



## 京阪電気鉄道(個別)財務諸表

貸借対照表 (平成26年3月31日現在)

科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
流動資産	91,945	流動負債	141,864
現金及び預金	12,953	短期借入金	80,816
未収金	9,144	未払金	16,424
販売土地及び建物	50,989	預り金	4,467
その他	18,857	その他	40,156
固定資産	457,899	固定負債	263,889
鉄軌道事業固定資産	183,385	社債	70,000
兼業固定資産	160,392	長期借入金	133,790
各事業関連固定資産	2,694	再評価に係る繰延税金負債	36,184
建設仮勘定	26,417	退職給付引当金	8,140
投資その他の資産	85,009	長期預り敷金保証金	14,505
関係会社株式	44,516	その他	1,269
投資有価証券	27,377	負債合計	405,754
その他	13,115	<b>(純資産の部)</b>	
		株主資本	101,202
		資本金	51,466
		資本剰余金	28,819
		利益剰余金	22,367
		自己株式	△ 1,451
		評価・換算差額等	42,887
		その他有価証券評価差額金	10,878
		土地再評価差額金	32,008
		純資産合計	144,089
<b>資産合計</b>	<b>549,844</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>549,844</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書

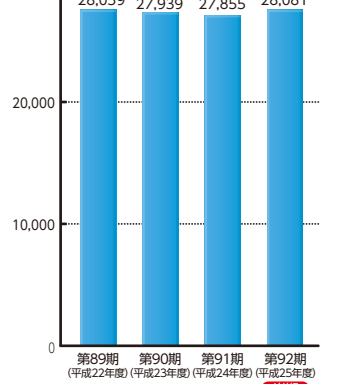
(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

科目	金額
営業収益	85,996
営業費用	70,995
営業利益	15,000
営業外収益	2,100
営業外費用	4,262
経常利益	12,838
特別利益	933
特別損失	180
税引前当期純利益	13,592
法人税、住民税及び事業税	4,690
法人税等調整額	△ 180
<b>当期純利益</b>	<b>9,082</b>

(注)1.記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
2.1株当たり当期純利益 16円15銭

## 総旅客数

(単位:万人)



# “BLOOMING KUZUHA”

## ～KUZUHA MALL 増床・リニューアル～

平成26年3月12日(水)に、KUZUHA MALLが大阪府下最大級のショッピングセンターに進化し、グランドオープンしました。営業面積は約50,000㎡から約72,000㎡へと大幅増床し、「京阪くずは駅ビル」と合わせて約140店舗が新たにオープン。くずはエリアの利便性や感度がさらに向上しました。これからもますます魅力的な沿線づくりを進めてまいります。



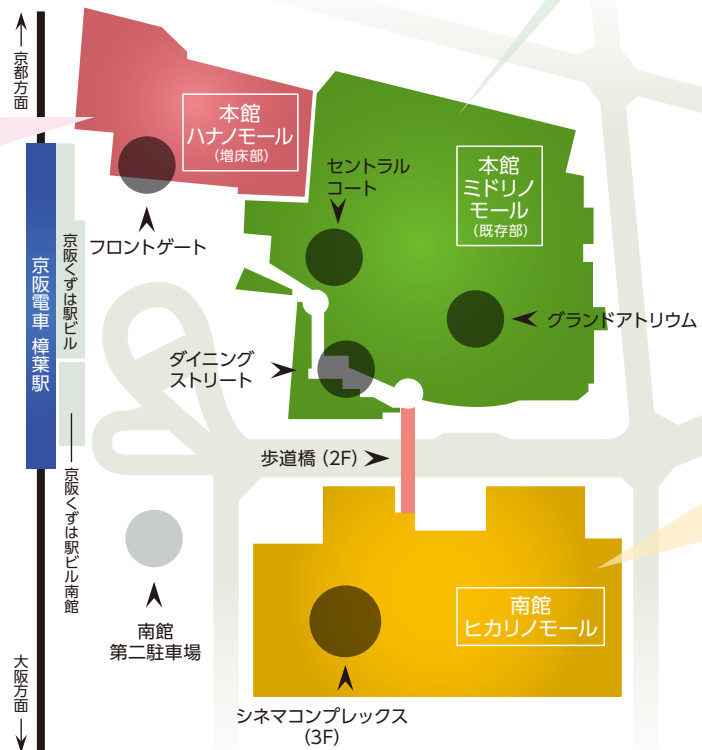
### 本館 ハナノモール

(本館増床部)

都市型のテナント構成を強化。高感度なファッションやインテリア、雑貨を集積し、各フロアにはそれぞれ個性の異なるカフェも配置。

### 京阪くずは駅ビル

樟葉駅前の「京阪くずは駅ビル」もリニューアルオープンしました。(株)京阪ザ・ストアの新業態ミニスーパー「フレストップ」や隣接のカフェでも販売中のスイーツが楽しめる「SWEETS BOX」に加えて、様々なリフォームプランをご提供する京阪電鉄不動産㈱の「京阪のリフォームくずは店」がオープン。また、日々の通勤通学路線の動線上となる駅前立地に強く望まれる教育・文化サービス機能を充実させるべく、今秋には「朝日カルチャーセンター」の開設も予定しています。



### 本館 ミドリノモール

(本館既存部)

ファッション・飲食店など35店舗が新たにオープン。京阪百貨店やイズミヤ、専門店も一部リニューアルしたほか、既存のフードコートも内装を一新。



### 南館 ヒカリノモール・シネマコンプレックス

「SANZEN-HIROBA」をはじめアミューズメント機能を導入。日用品も揃うワンストップショッピングを実現したほか、ファーストフードなど飲食店も充実。

#### TOHOシネマズ

10スクリーン約2,000席の京阪沿線最大級のシネマコンプレックスが登場。西日本最大級のラージスクリーン「TCX」と革新的なシネマ音響「ドルビーアトモス」も備えています。



### SANZEN-HIROBA

お子さまから大人まで「京阪電車を見て、知って、体感できる」ゾーンとして、オープンした「SANZEN-HIROBA」。昨年3月末に引退した旧3000系特急車両の「デジタル動態保存」をはじめ、京阪電車のDNAを思う存分体感できる「レイルゾーン」と、ステージや大型ビジョンを活用して各種イベントを開催する「イベントゾーン」とで構成されます。



# 京阪 トピックス

## ○ 宇治・伏見観光キャンペーンを展開中

当社は、観光キャンペーン『宇治・伏見、水と歴史の、まちめぐり。』を展開しています(来年3月末まで)。これは、今春に公開を再開した平等院鳳凰堂やお茶で知られる宇治と、坂本龍馬ゆかりの地や日本酒の醸造地として有名な伏見の四季折々の魅力を、「水・歴史」をテーマに発信するものです。宇治線と中書島一伏見稲荷間が乗降自由の「宇治・伏見1dayチケット」の発売や、両エリアの風景写真を展示した「宇治・伏見ギャラリートレイン」の運転などを実施しているほか、今後も様々な企画を通じ両エリアへの誘客を図ります。



宇治・伏見ギャラリートレイン

## ○ 「ローズライフ京都」を開業します

今年11月(予定)、京阪ライフサポート(株)は、京都市内同社初進出となるサービス付き高齢者向け住宅(介護付有料老人ホーム)「ローズライフ京都」(地上6階建、90室)を京都市中京区に開設します。常に介護を必要とされる方の入居施設で、京福西院駅など3線3駅から徒歩圏内、京都市立病院にも隣接する好立地です。京阪グループでは、「沿線再耕」の一環として高齢者支援を含むライフサイクル支援事業を推進、高齢者が安心して暮らせる沿線を目指し、デイサービス、訪問介護などを充実させていく予定です。



ローズライフ京都完成予想図

## ○ 京阪バス京都駅八条口案内所がより便利・快適に

今春、京阪バス(株)の京都駅八条口案内所がリニューアル。標準案内用図記号(ピクトグラム)や4カ国語表記(日英中韓)を用いたサインを導入し、外国人のお客さまへの案内を充実させました。また、待ち時間をより有効に過ごせるよう、カウンターチェアやコンビニエンスストアを新設。運行情報をお知らせする「バスロケーションシステム」の案内モニターなども設置予定です。「関西国際空港行きリムジンバス」(京都駅八条口のりば発着)には早朝便を設定し、旅行者にとってより便利で快適な拠点に生まれ変わりました。



## ○ 関目・藤森で大型マンションを分譲中

京阪電鉄不動産(株)は、大阪市城東区で建設中のマンション「ファインフラッツ関目ザレジデンス」(地上7階建、総戸数138戸、平成27年3月竣工予定)を分譲中です。関目駅など3線3駅が利用可能な好立地や、人と人とのつながりを意識した充実のコミュニティ空間などが特徴です。

また、同社は京都市伏見区で建設中のマンション「Aito<sup>アイト</sup>」(地上7階建、総戸数271戸、平成27年2月竣工予定)も分譲中。藤森駅徒歩3分の高アクセス性と、緑・桜・疎水など潤いのある周辺環境が魅力となっています。



ファインフラッツ関目ザレジデンス



Aito

## ○ 沿線外で「ジュースバー」「ユニクロ」をオープン

(株)ジュースバー・コーポレーションは、「ジュースバー」の新店を、3月14日(金)に天王寺駅の商業施設「天王寺ミオプラザ館」で、4月11日(金)に梅田地下街の商業施設「ホワイティうめだ」でオープンしました(※)。また、(株)京阪ザ・ストアは、「ユニクロ」の新店を、2月25日(火)に近鉄大塚上本町駅の商業施設「Time's Place」で、4月4日(金)に地下鉄梅田駅の商業施設「ekimo梅田」でオープンしたほか、4月1日(火)には関西国際空港第1ターミナルビル内店舗の営業権を取得しました。両社では、今後も沿線内外で積極的な新店を目指します。

※天王寺店は直営店、梅田店はフランチャイズ店



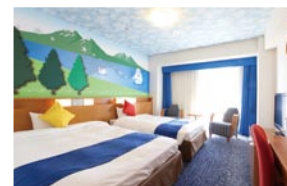
ジュースバー 天王寺ミオプラザ店



ユニクロ関西エアポート店

## ○ 京阪グループ各ホテルをリニューアル

グループ各ホテルでは、多様なニーズへの対応とさらなる魅力向上を目指し、リニューアルを実施しています。2月にはホテル京阪ユニバーサル・シティが映画の1シーンをイメージした客室3種・192室を、3月には今年開業50周年を迎える京都タワーホテルが、8階に客室9室と宴会場を新たにオープン。また、ホテル京阪京都では、「京都」を意識した和モダンをコンセプトに、営業を継続しつつ客室・レストランなどの全面的なリニューアルを進めています(平成28年度完成予定)。



ホテル京阪ユニバーサル・シティ



京都タワーホテル

## ○ 京阪グループに「恋人の聖地」が誕生

昨年7月1日(月)、(株)ガーデンミュージアム比叡が運営するガーデンミュージアム比叡は、NPO法人地域活性化支援センターが展開する「恋人の聖地プロジェクト」により、同園を彩る花や陶板の絵画などから、プロポーズにふさわしいスポットとして「恋人の聖地」に認定されました。

今年1月1日(水)には、琵琶湖汽船(株)の外輪船「ミシガン」と客船「ピアンカ」が、船舶として初めて「恋人の聖地サテライト」に認定されました。

両社では、カップル向けのイベントやPR活動などを積極的に展開しています。



ガーデンミュージアム比叡



ミシガン

## CSR活動

### 沿線の小学校で乗車マナー講習を実施

昨年11月8日(金)、当社は、沿線の大阪市立晴嵐小学校で1年生の児童145名を対象に、乗車マナーに関する講習を実施しました。講習では、当社社員3名が、ホームや車内でのマナーをはじめ、乗車券の買い方や踏切道の安全な渡り方など、安全・快適な鉄道利用に向けた説明を行いました。また、石山坂本線を走るラッピング電車の紹介や、鉄道に関する児童からの質問にわかりやすく答えるなど、当社および鉄道全般に親しみを感じていただくための企画も実施しました。



乗車マナー講習の様子

# 京阪 会社情報

## ○ 会社の概要 (平成26年3月31日現在)

- 設 立 昭和24年11月25日(12月1日営業開始)  
(創立:明治39年11月19日)
- 資 本 金 51,466,416,776円
- 発行可能株式総数 1,595,886,000株
- 発行済株式の総数 565,913,515株
- 株 主 数 54,558名
- 従 業 員 数 1,586名
- 本 社 事 務 所 大阪市中央区大手前1丁目7番31号
- 主 要 な 事 業 内 容 ①鉄道事業(鉄軌道による旅客運輸)  
②不動産事業(土地建物の販売および賃貸)  
③レジャー事業(遊園地などの経営)
- 営 業 キ 口 91.1km
- 車 両 数 695両

## ○ 役 員 (平成26年6月19日現在)

- |                              |        |        |       |
|------------------------------|--------|--------|-------|
| 代表取締役社長<br>CEO兼COO<br>執行役員社長 | 加藤 好文  | 常務執行役員 | 木村 靖夫 |
| 代表取締役<br>専務執行役員              | 小川 雅人  | 執行役員   | 浅井 栄一 |
| 取締役<br>常務執行役員                | 下條 弘   | 執行役員   | 中西 基之 |
| 取締役<br>常務執行役員                | 三浦 達也  | 執行役員   | 中野 道夫 |
| 取締役<br>常務執行役員                | 太刀川 克己 | 執行役員   | 尼田 賢光 |
| 取 締 役                        | 佃 和夫   | 執行役員   | 上野 正哉 |
| 取 締 役                        | 北 修爾   | 執行役員   | 稲地 利彦 |
| 監 査 役 (常 勤)                  | 井関 隆政  | 執行役員   | 石丸 昌宏 |
| 監 査 役 (常 勤)                  | 前田 佳彦  |        |       |
| 監 査 役                        | 家近 正直  |        |       |
| 監 査 役                        | 島井 章吉  |        |       |
| 監 査 役                        | 梅崎 壽   |        |       |

## ○ 京阪グループネットワーク (平成26年6月現在)

- |  |  |
|--|--|
| <b>■ 運輸業</b><br>京阪電気鉄道(株)<br>叡山電鉄(株)<br>京福電気鉄道(株)<br>(株)京阪レジャーサービス<br>中之島高速鉄道(株)<br>(株)京阪ステーションマネジメント<br>(株)京阪エージェンシー<br>京阪ライフサポート(株)<br>京阪バス(株)<br>京都京阪バス(株)<br>京阪京都交通(株)<br>ケービー・エンタープライズ(株)<br>江若交通(株)<br>(株)ザ・コジャック<br>京都バス(株)<br>ケーター自動車工業(株) | <b>■ レジャー・サービス業</b><br>(株)琵琶湖ホテル<br>琵琶湖ホテルサービス(株)<br>(株)ホテル京阪<br>(株)京阪アーバンシステムズ<br>(株)京阪リゾートシステムズ<br>京都タワー(株)<br>(株)京都センチュリーホテル<br>琵琶湖汽船(株)<br>琵琶湖汽船サービス(株)<br>びわこフードサービス(株)<br>大阪水上バス(株)<br>比叡山鉄道(株)<br>(株)樟葉パブリック・ゴルフ・コース<br>比叡山自動車道(株)<br>(株)ガーデンミュージアム比叡 |
|--|--|

- |   |   |
|---|---|
| <b>■ 不動産業</b><br>京阪カインド(株)<br>京阪電鉄不動産(株)<br>イースタン興業(株)<br>京阪アセットマネジメント(株)<br>(株)京阪エンジニアリングサービス<br>京阪産業(株)<br>(株)かんこう<br>(株)文化財サービス<br>京阪園芸(株) | <b>■ その他</b><br>(株)大阪マーチャндаイズ・マート<br>(株)京阪ビジネスマネジメント<br>(株)京阪カード<br>(株)はちけんや |
| <b>■ 流通業</b><br>(株)京阪流通システムズ<br>(株)京阪百貨店<br>(株)京阪友の会<br>(株)京阪ザ・ストア<br>(株)京阪レストラン<br>(株)ジューサーバー・コーポレーション                                       |   |

# 株主優待のご案内

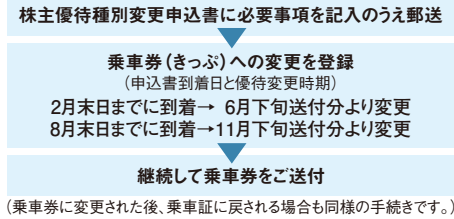
## ○ 株主優待乗車券および株主優待乗車証

ご所有株式数	乗車券または乗車証の種類	枚 数	乗車券を選択された株主様	枚 数
1,000株以上 20,000株未満	当社線全線通用乗車券 (きっぷ)	1,000株 につき3枚		
20,000株以上 34,000株未満		60枚		
34,000株以上 48,000株未満	当社線全線通用乗車証 (定期券型式)	1枚	当社線全線通用乗車券 (きっぷ)	90枚
48,000株以上 100,000株未満	当社線全線・京阪バス線 通用乗車証 (定期券型式)	1枚		120枚
100,000株以上 300,000株未満		2枚		240枚
300,000株以上 500,000株未満		3枚		360枚
500,000株以上 1,000,000株未満		5枚		600枚
1,000,000株以上		10枚		1,200枚

## 株主優待乗車証・優待乗車券選択方式のご案内

株主優待乗車証発行対象(34,000株以上ご所有)の株主様が、株主優待乗車券を希望される場合は、株主優待乗車証に替えて株主優待乗車券を発行いたします。

**乗車券への変更方法**  
株主優待種別変更申込書を、変更を希望する優待の基準日(3月31日、9月30日)1カ月前までに当社に到着するように送付ください。  
株主優待種別変更申込書の入手は、当社ホームページよりダウンロードされるか、または当社株式担当へお電話ください。



## ○ 京阪グループ諸施設株主ご優待

1,000株以上ご所有の株主様は、京阪グループの諸施設をご優待価格でご利用いただけます。

<b>①京阪グループ株主ご優待カード</b> (何度でも利用可)	<b>②京阪グループ諸施設ご優待割引券(クーポン)</b>
京阪グループホテル 宿泊20~40%割引等	ホテル内レストラン 飲食10~20%割引 ステーキハウス近江 飲食10~20%割引
大阪水上バス 乗船料20%割引	琵琶湖汽船 乗船料20~30%割引
比叡山坂本ケーブル 運賃20%割引	比叡山ドライブウェイ・奥比叡ドライブウェイ 通行料金割引
京阪園芸 お買物10%割引 ガーデンミュージアム比叡 入園料金割引	琵琶湖ホテル「るりの湯」 入浴料金割引
	ひらかたパーク のりものフリーパス 割引券2枚
	パナンテ(天満橋駅) 飲食10%割引券5枚
	京阪百貨店 お買物10%または5%割引券20枚
	くずはゴルフ場 割引券2枚

## ○ ひらかたパークご招待

ひらかたパーク株主ご招待入園引換券2枚(ご招待用乗車券4枚付)を1,000株以上ご所有の株主様に贈呈いたします。

## ○ 送付時期(年2回)および有効期間

対象	3月31日現在の株主様	9月30日現在の株主様
送付時期	6月下旬	11月下旬
乗車券・ひらかたパークご招待券・諸施設株主ご優待の有効期間	ご到着日~1月10日	ご到着日~7月10日
乗車証の有効期間	7月11日~1月10日	1月11日~7月10日

※株主優待制度の詳細については、当社ホームページをご覧ください。